

# 河川・排水機場など被災施設の復旧状況

1

建設部

資料1-5

## 1-1 河川の復旧状況【総括】

令和3年10月31日現在

管理者	河川名	地区	箇所数	進捗状況 (R3.7.31)	進捗状況 (R3.10.31)	備考
国	千曲川	長沼(復旧)	1	完了	完了	決壊箇所の復旧延長140m
		長沼(強化)	1	完了	完了	上記箇所の上下流 420m
		篠ノ井塩崎(復旧)	1	完了	完了	軻良根古神社付近
		篠ノ井塩崎(強化)	1	完了	完了	近々に宅地側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手
県	浅川	豊野	4	完了	完了	
	三念沢	豊野	1	完了	完了	
	赤野田川	若穂	3	完了	完了	
	保科川	若穂	4	完了	完了	
	蛭川	松代	1	完了	完了	
	神田川	松代	1	完了	完了	
	藤沢川	松代	1	完了	完了	
	岡田川	篠ノ井	1	完了	完了	
	聖川	信更	3	完了	完了	
	犀川	信更	1	完了	完了	
市	高岡川	若穂	1	75%	90%	令和3年中の完了予定
	唐沢川	若穂	1	完了	完了	
	銅山川	松代	1	完了	完了	

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

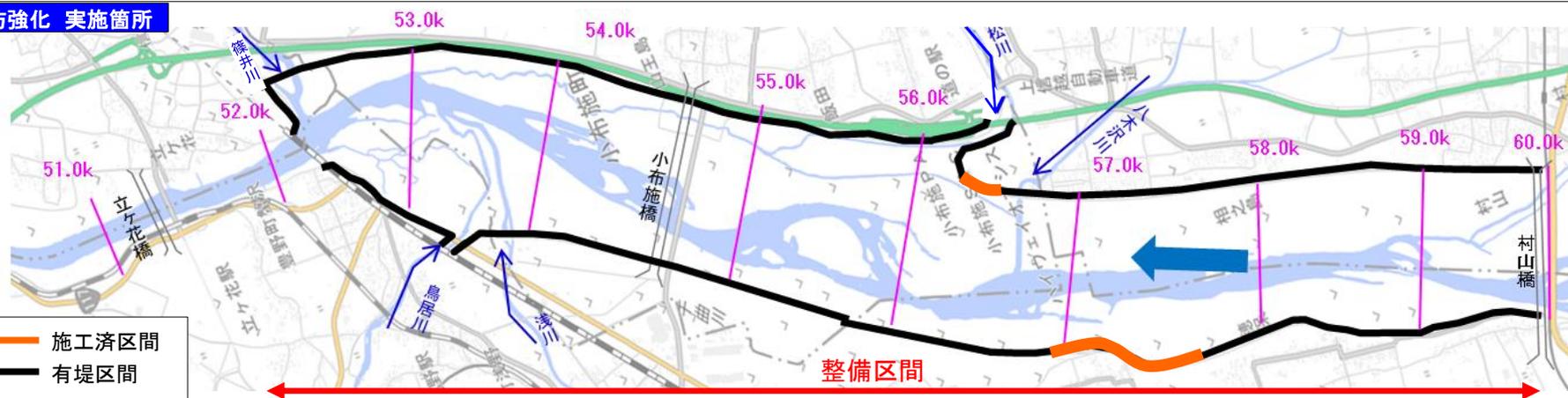
資料提供:千曲川河川事務所

R3.9末時点

## 長野県中野市・長野・須坂市・小布施町:堤防強化(立ヶ花～村山橋:左右岸)の進捗状況について

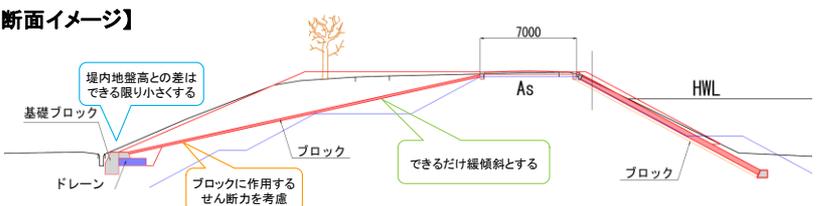
- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施しています。
- 令和5年度の出水期までに整備を完了させる予定としています。

### 堤防強化 実施箇所



進捗状況(R3.9月末時点)  
進捗率=約4%

### 堤防強化 実施状況



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

資料提供:千曲川河川事務所

## 長野県長野市:堤防強化(立ヶ花～村山橋:左右岸)の進捗状況について

R3.9月末時点

○令和3年10月現在、左右岸あわせて約8km区間(全体約16km区間)において、左岸で7工区、右岸で9工区に区分し工事発注済。

○現在、本格的着手に向け、工事用道路用地の借地(左右岸)、左岸桜づつみ区間における桜の仮移植などの準備工を実施中。

【桜雁移植状況】



【大型土のう製作状況】



【大型土のう設置状況】



【大型土のう設置状況】



【千曲川：篠ノ井塩崎地区】

今年12月から宅地側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手



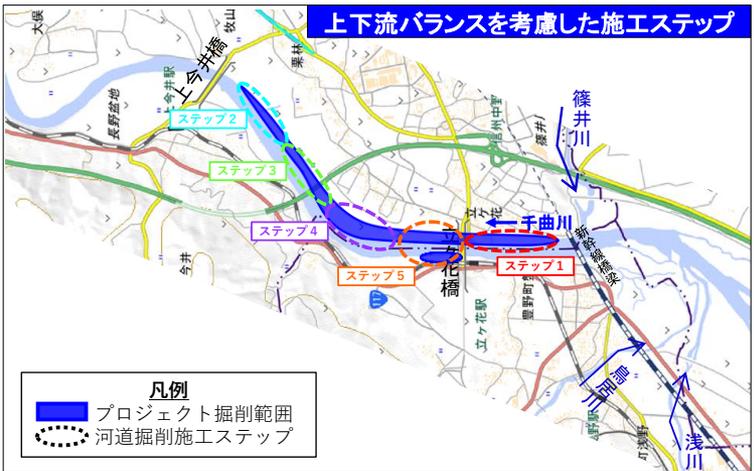
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

資料提供:千曲川河川事務所

## 長野県中野市:河道掘削(立ヶ花狭窄部)の進捗状況について

R3.9末時点

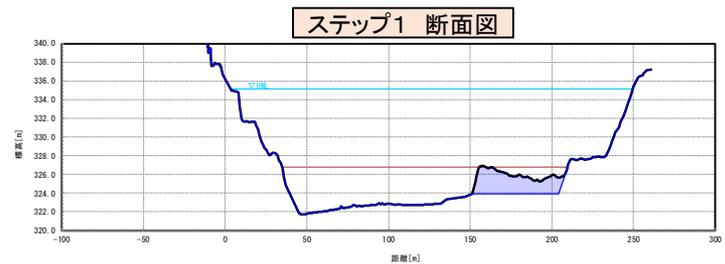
- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 令和3年2月22日よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削を開始しました。今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削(立ヶ花狭窄部)を実施する予定としています。



河道掘削 実施状況 ※ステップ1実施中



進捗状況(R3.9月末時点)  
**進捗率=約5%**



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

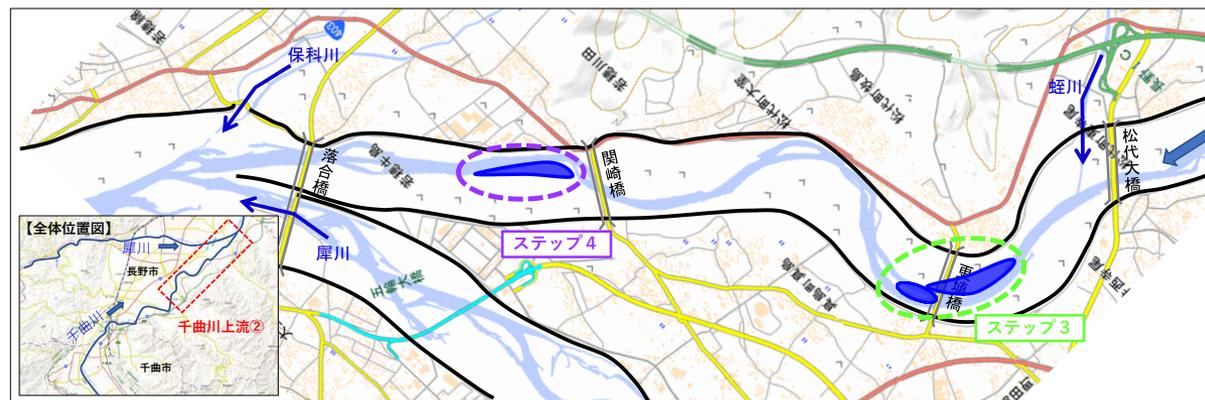
資料提供:千曲川河川事務所

## 長野県長野市・千曲市:河道掘削(千曲川上流)の進捗状況について

R3.9月末時点

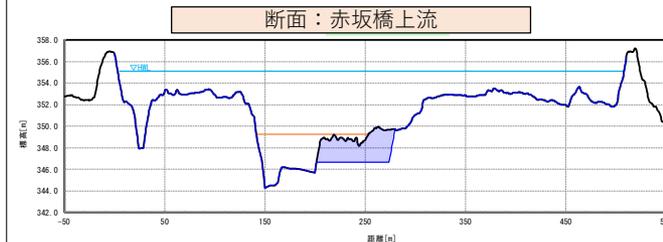
- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削を実施する予定としています。

### 河道掘削 実施箇所



### 進捗状況(R3.9月末時点)

進捗率=約3%



【凡例】  
 ●●●● 河道掘削施工ステップ  
 ■■■■■ 掘削範囲  
 ■■■■■ 堆積土砂除去  
 — 現況河道  
 — プロジェクト河道  
 — 概ね1年に1回冠水する高さ

### 河道掘削実施状況 ※ステップ1実施中



## 遊水地計画地 位置図

資料提供:千曲川河川事務所

- 令和元年東日本台風に対する治水対策として、直轄管理区間(飯山市湯滝橋付近～上田市大屋橋)において、5箇所の遊水地整備を予定。
- 令和6年度(若しくは令和9年度)までの遊水地事業完成を目指す。



※遊水地は現在計画検討中であり、範囲等は確定したものではありません。

## 塩崎遊水地 越流堤

資料提供: 千曲川河川事務所

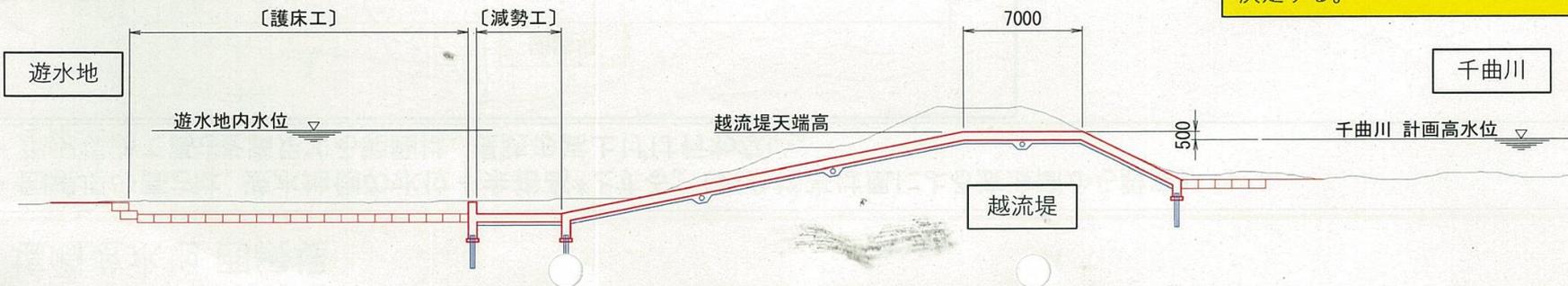
- ・越流堤は遊水地の中央部へ設置する。
- ・越流堤とあわせて、減勢工<sup>\*</sup>、護床工<sup>\*</sup>を設置する。(※減勢工、護床工等を設置する範囲は用地買収が必要となる。)



住民・地権者への事業説明会(11月7日)

※用語解説  
 減勢工：越流堤を越えて流入する洪水の勢いを減ずる施設  
 護床工：越流堤を越えて流入する洪水による洗掘を防止する施設

### 横断面図



越流堤の構造は、今後の設計検討、水理模型実験の結果等より詳細を決定する。

## 河川整備計画の変更骨子（案）：治水

## ◆信濃川水系河川整備計画変更のポイント

## ① 令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し

◆現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとする。

## ●上流部（千曲川）

戦後最大を更新した令和元年10月洪水と同規模の9,400m<sup>3</sup>/sを基準地点立ヶ花の目標流量とし、堤防の決壊、越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。

## ●中流部（信濃川）

戦後最大を更新した令和元年10月洪水及び上下流バランスを考慮し、12,000m<sup>3</sup>/sを基準地点小千谷の目標流量とし、堤防の決壊、越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。

◆河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討。

河口部で洪水処理を担う大河津分水路の改修を優先的に進めるとともに、上流部・中流部の安全性が段階的に向上するよう立ヶ花狭窄部などの河道掘削や築堤等の整備を実施する。

また、大町ダム等再編事業に加え、遊水地の設置や、洪水調節機能の向上を図るため、関係機関と調整のうえ調査・検討を行い、必要な対策を実施する。

## ② 流域治水を踏まえ治水対策案を見直し

ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。

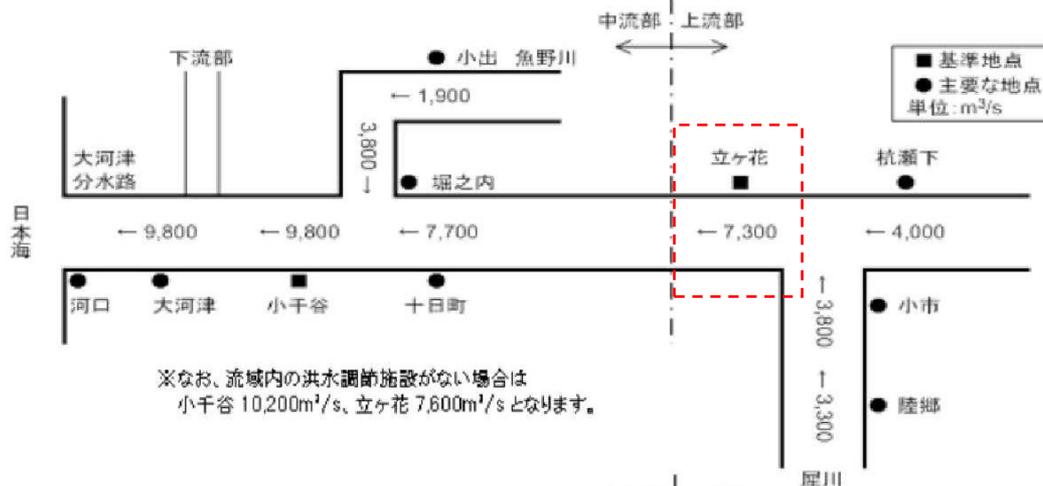
●既存の霞堤により洪水流を貯留する効果や氾濫流の拡大防止効果の維持・保全を図る。また、掘削残土を活用した河川防災ステーションの整備を行う。さらに、住民の確実な避難に向けたマイ・タイムラインや流域タイムライン等のハード・ソフト一体となった対策により、被害軽減を図る。

## 河川整備計画の変更骨子（案）：治水

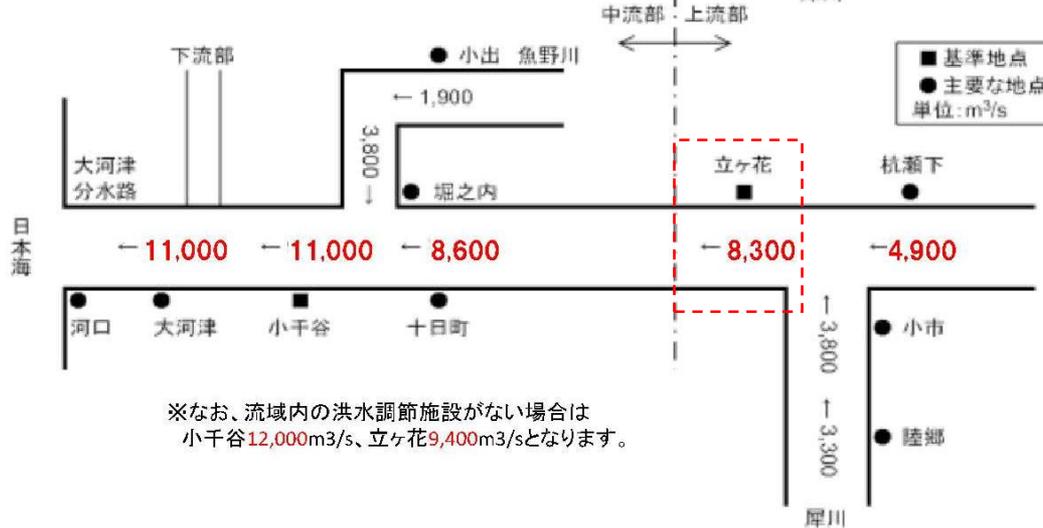
### ◆流量配分図（中・上流部）

- 戦後最大規模の洪水となった令和元年東日本台風(台風第19号)洪水に対し災害の発生防止又は軽減を図るため、整備目標の引き上げを実施。
- 計画変更の対象区間は、被災、出水規模等を踏まえ、上流部千曲川及び中流部の信濃川の本川に位置する基準地点、主要地点の区間とする。

#### 現行(H26.1策定)



#### 変更(案)



- ・全復旧延長 1,561mを3つの工区分けて復旧中
- ・進捗率は90% 今年12月中の全工区完了予定



## 【総括】

令和3年10月31日現在

管理者	施設名	所在地	ポンプ能力	進捗状況(%) (R3.7.31)	進捗状況(%) (R3.10.31)	ポンプ能力 復旧率	備考
長野平 土地改良区 (市八管理委託)	浅川第一排水機場	小布施町	14.0 m <sup>3</sup> /s	60%	70%	7%	R4.3月本稼働予定
	浅川第二排水機場	小布施町	30.0 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
	長沼排水機場	長沼	16.5 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
市	大道橋排水機場	豊野	0.2 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
	赤沼雨水ポンプ場	長沼	1.8 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
	三念沢雨水ポンプ場	豊野	1.36 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
	沖雨水ポンプ場	豊野	3.66 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働
	小森第一排水機場	篠ノ井	17.0 m <sup>3</sup> /s	100%	100%	100%	本稼働

※ポンプ能力復旧率：仮設備による復旧を含めた従前のポンプ能力に対する復旧率

### 浅川第一排水機場



- ・排水機場の建屋工事を進めるとともに、排水ポンプについて工場製作を進めている。令和4年3月の本稼働を予定
- ・浅川第一排水機場のポンプ能力不足分については、既存農業用ため池を活用した流出抑制対策により およそ4割を補完

## 【低水管理の効果】

ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川の流出量を抑制

### 浅川大池（総貯留量29万 $\text{m}^3$ ）

低水位管理中の様子

14万4千 $\text{m}^3$

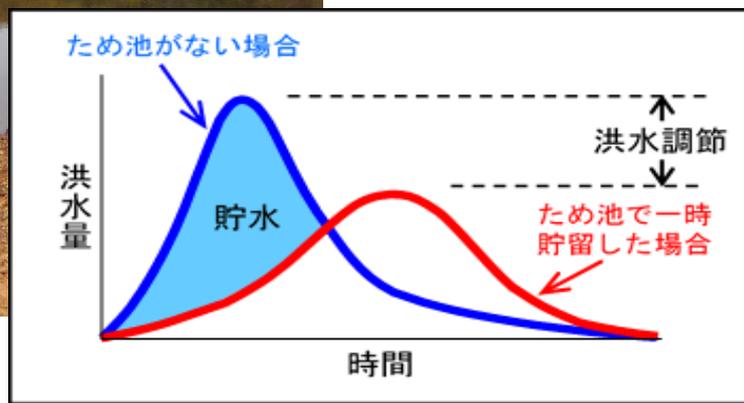
満水位

低水位

一時貯留量

河川のピーク流量を抑制

ため池の洪水調節イメージ



## 実施状況と今後の予定

- ・令和2年度（ため池管理者のボランティア）⇒ ため池18箇所、合計約49万 $\text{m}^3$ の貯留
- ・令和3年度（低水位管理業務委託の締結）⇒ ため池16箇所、合計約46万 $\text{m}^3$ の貯留量を確保
- ・令和4年度～ ⇒ 流域治水として引続きたため池管理者の協力のもと低水位管理を継続